

## アカデミック英語 No.8

英語で結論を出す — In conclusion・Therefore・Ultimately を使った締め技術

## 導入文

英語の論述で「In conclusion, I think…」と締めるだけでは、採点者には「主張の再述に過ぎない弱い結論」と読まれる。Therefore・Thus・Ultimately・It follows that…・The evidence suggests that…など「論証から導かれる結論」を示す表現を使うことで、論証の締めくくりが格段に強くなる。

## 講義概要

英語論述における結論部の3機能（論証の要約・含意の提示・行動・提言の呼びかけ）を体系化し、各機能で使われる表現（In conclusion・Therefore・Thus・Ultimately・It follows that・The evidence suggests・This calls for）を習得する。医学・社会テーマの英語論述の締めを「論証から必然的に導かれる結論」として書く技術を確立する。

**授業目標：**英語論述の結論を「感想の再述」から「論証から必然的に導かれる結論」へ変える。

**対象者：**高2（英語得意層）～高3・浪人生。英語論述・面接がある難関国公立・医学部受験生で、論述の締めくくりを強化したい生徒。アカデミック英語No.1～7の受講後が望ましい。

**授業時間：**授業90分＋演習・質疑応答30分

**到達目標：**結論の3機能を使い分けられる／Therefore・Ultimatelyなど結論表現を正確に使える／論証と結論がつながった英語論述が書ける

## 授業構成（90分）＋演習・質疑応答（30分）

**授業90分：**1 導入：弱い結論と強い結論を比較 2 結論の3機能：要約・含意・呼びかけの区別 3 要約表現：In conclusion・In summary・To sum up の使い方と違い 4 含意表現：Therefore・Thus・It follows that・Consequently の使い方 5 呼びかけ表現：This calls for・We must・It is essential that の使い方 6 演習：医学テーマの論述に3機能の結論を付ける練習 7 まとめ：「論証の流れを受けた結論を先に構造化する」習慣

**追加30分：**医学テーマで3機能を全て含む結論パラグラフ（60語程度）を書く演習と、論証との接続についてフィードバックを行う。

**板書・スライド骨子：**結論の3機能の定義と区別／結論表現一覧（要約・含意・呼びかけ）／論述締めテンプレート／医学テーマへの適用例

**課題：**医学テーマ2つを選び、それぞれについて Therefore と Ultimately を使った結論パラグラフ（各60語以上）を英語で書く。

**備考：**高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。